



2025. 7. 10発行

令和7年度の保育が始まってから、早いもので、もう3か月が過ぎました。今年度は、20名のお友達と12名の職員でスタートしました。

さて、この『職員室だより』ですが、あまり聞きなれないお手紙かと思います。これは、峰上保育所がどんな保育をしているのかを保護者の皆さんや地域の方に知っていただこうと思い、所長が作成しています。地域に回覧させていただくにあたり、ご協力いただきました各区長様、この場をお借りし御礼申し上げます。



これから2か月に1度くらいのペースで発行していけたらと考えていますので、どうぞ皆さんでご覧ください。また、ご覧いただいた感想等ございましたら、保育所までお願いいたします。



【4月】

12日の土曜日、おうちの方にも参加していただき、歓迎会を行いました。新年度始まってから、2週間しか経っていない時期でしたが、年長さんは、自分達がリードしていこうという気持ちがあり、張り切って準備をしてくれました。小さいお友達へのプレゼント作りは、部屋のドアを閉め、極秘で進めるほど・・・当日は、歌を披露したり、おうちの方とのふれあい遊びを楽しんだり、あっという間の1時間でした。いろいろ頑張ってくれた年長さんには、職員からのサプライズプレゼントがあり、この日1番の笑顔を見せてくれました。



21日は、サッカー教室がありました。このサッカー教室は、千葉県サッカー協会のコーチが保育所に来てくれ、子ども達とサッカーだけでなく、たくさん体を使った遊びを教えてくださいました。子ども達は座間コーチが大好きで、毎月のサッカー教室を楽しみにしています。また、昨年度より、富津市内の公立保育所に通う年長児が“地域交流支援センターカナリエ”に集まり、サッカー交流会も行っています。今年度は5月28日に行われ、峰上保育所の年長児4名も元気に参加してきました。



29日は、今年度初の園外保育。年長さんだけで竹岡保育所に遊びに行きました。なぜ竹岡に行ったのか・・・？私が3月まで勤務していた竹岡保育所は、歩いて10分ほどの所に海があり、磯遊びができます。この磯遊びを経験させてあげようと思い、交流保育をお願いしました。ちょっと緊張気味の年長さんも磯に行けば、たくさんの生き物に目を輝かせ、いつの間にか、竹岡保育所のお友達と仲良くなっていました。皆さんもご存知の通り、年長さんは来年、天羽小学校に入学します。子ども達にしてみたら、初めて行く学校ですから緊張もすることでしょう。少しでもその緊張を和らげられるように、年長さんのうちに交流をし、お友達になって天羽小学校での生活をスタートしてほしいと思います。



【5月】

2日には『こどもの日の集い』を行いました。近年、大きなこいのぼりを見ることが少なくなりましたが、保育所のお友達の家にこいのぼりがあがっていたので、お散歩がてら見せていただきました。保育所では、こうした年中行事の由来を話したり、給食を行事食にしたりして、子ども達にも伝えるようにしています。



13日は、峰上保育所年長児の伝統行事『田植え』がありました。今年は、年長児のお父さん（尾坂さん）に田んぼの先生になっていただきました。（貴重な苗も譲ってくださり、ありがとうございます）田植えをする前に、田んぼを耕したり、草を抜いて水を張ったり準備をしてきた年長さん。いざ、田んぼに入ると・・・あれれ？思ったように進めない・・・？自分達が思っていた以上に、ぬかるみに足を取られ、ヨロヨロする場面もありました。でも、そこはさすが年長さん。何度か繰り返すうちにコツを掴み、どんどん植えていくことができました。全部、植え終わったら、田んぼの先生から「花咲かじいさんになろう」と言われました。一瞬、キョトンとする子ども達。肥料を入れたバケツを渡されると「そういうことか！」とわかったようで、みんなで楽しそうに肥料を撒いていました。

田んぼの先生がおもしろおかしく、でもコツも伝えながら教えてくださったので、子ども達はまったく飽きることなく田植えを頑張っていました。小さいお友達も、「僕もやりたいな～」という顔をしながら近くで応援してくれ、無事、伝統行事を終えることができました。

今年は、種から稲が育つ様子も観察しようと、4,5歳児はバケツ稲も育てています。種を水につけ、根が出てくる様子も見ることができました。これから、田んぼの稲とバケツの稲とどちらの生長も楽しみにしていきたいと思います。



田植えの翌日 14 日は、年中さんも一緒に竹岡の磯遊びに行きました。磯遊び 2 回目になる年長さんがしっかりリードしてくれたので、年中さんも安心だったようです。この園外保育に行くにあたり、保育所では、子ども達のいろいろな姿がありました。4 月に年長さんだけが出かけた時、「いいな～。行きたいな～」と言っていた年中さん。私が何気なく「だって、うさぎ組さん（年中組）は、バスに乗れるチケット持ってないでしょ？」と話すと、自分達もそのチケットが欲しいと言い始めました。「自分達も年長さんみたいに、こんなことができるようになった！今、こうやって頑張ってる！」と、それはそれは、一生懸命なアピールでした。そこで、年中児にも『たけおかいき ちけっと』を渡すと大喜び。こうして、年中さんも一緒に行くことができました。



もともと、職員の中では 2 回目は年中児も連れていくことになっていました。それが、ちょっとした一言がきっかけになり、保育が一段と膨らんできました。今回は、たまたま私が発した『チケット』がキーワードになりましたが、保育はこんな風に保育士や子どもの一言がきっかけになって膨らんでいきます。子ども達は、私達大人が思っている以上にいろいろなことを考え、またよく見えています。その子どものつぶやきに耳を傾けると、大人も“なるほど”と思うことがたくさんあります。

そして、29 日には、なんと 3 回目の磯遊びに行ってきました。今度は『たけおかいき ちけっと（おべんとうつき）』です。竹岡保育所のお友達の名前を覚え、再会を楽しみにしていた子ども達。お互い駆け寄り「久しぶりだね」と話す女の子達の姿もありました。

磯では、竹岡保育所の先生とも打ち解けて話をしたり、生き物を捕まえてもらったり、人見知りせず関わる姿に嬉しくなりました。また、磯は足場が不安定です。竹岡のお友達は慣れているのでどんどん歩けるのですが、峰上のお友達はまだ 3 回目。きっと何回も転んでしまうのでは・・・？と心配していたのですが、全くの取り越し苦労となりました。どの子もほぼ転ぶことなく、自分で歩きやすい足場を探しながら歩いていました。私が竹岡にいる時に、他の保育所が遊びに来ていましたが、こんなにもスムーズに歩けている保育所はありませんでした。これは日頃からお散歩に出ている成果かと思います。磯は、天然のアスレチックです。大人の私達も、帰ってくると足が重だるくなります。こうして、遊びながら、体力をつけられる場所が富津市にはたくさんあります。今年度も、いろいろな所へ散歩や園外保育にでかけ、足腰を鍛えていきたいと思います。

【6 月】

9 日は、たべもの教室がありました。これは、保育所の給食献立を考えてくれる富津市役所保育課在籍の管理栄養士が、子ども達に食育活動の一環として行っているものです。今年度 1 回目は、野菜の花あてクイズやお箸の持ち方を行いました。これから、食材の名前あてや栄養についてなど、子ども達にわかりやすく年間を通して学んでいきます。年長児にとっては、就学に向けた練習にもなっており、回数を重ねるごとに集中して取り組めるようになります。



保育所給食は、管理栄養士がカロリーや栄養を考えた献立であることはもちろん、子ども達にとって、楽しみなものになるよう工夫を凝らしてあります。例えば、5月の子どもの日にちなんだ“こいのぼりバーグ”は、ハンバーグをこいのぼりに見えるように形をつくり、スティックきゅうりを竿に見立ててありました。ほんの少しの工夫で、子ども達は喜んでたくさん食べてくれます。峰上の子ども達は、給食をととてもよく食べます。必ず毎日おかわりをするお友達もいます。保育所の畑では、たくさんの野菜も育てており、それを自分達で調理をしたり、給食に入れてもらったりすることもあります。こうして、食を身近に感じながら、たくさん遊んで、たくさん食べ、たくさん寝る・・・という子どもらしい子どもに育てていってほしいと思います。

13日はじゃがいも掘りをしました。昨年度は不作だったとのことで、今年度はどうかな・・・と心配だったのですが、見事に豊作でした！次々と掘れるじゃがいもに大喜びの子ども達。掘れたじゃがいもを年長さんに大きさ別に分けてもらいました。これも、遊びながら形の大小に気づいたり、数の概念へ繋がったりと、知らずしらずのうちに学んでいることになります。保育所は、日々の生活の中に学びがあります。もちろん、保育士が意図的に仕掛けていることもあります。子どもの発見や気づきを見逃さず、それに共感したり膨らめたりすることで、大人では考えつかなかったアイデアが生まれることもあるんですよ。掘りたての小さいじゃがいもは、早速、茹でて食べました！

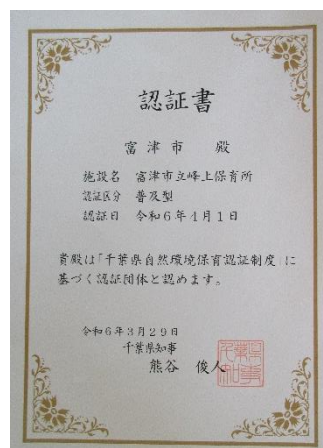


25日は、年少児も一緒に園外保育に行きました。年少さんは、この日をどれだけ楽しみに待っていたことか！チケットを渡した時の、ニコ〜っと笑う顔がなんとも言えず、本当に可愛らしかったです。予定では、“千葉県酪農のさとで川遊びをして、ソフトクリームを食べる”だったのですが、あいにくのお天気だったので、『道の駅保田小附属ようちえん』に行きたっぷり遊んできました。行ったことがないというお友達も多く、保育所とは違う遊具に大はしゃぎ。平日なので、ほぼ貸し切り状態で遊ぶことができました。向かう道中では、鹿にも遭遇。「サファリパークみたいだね」という保育士の発言から、動物探しが始まり、真剣に「ライオンいるかな〜」とつぶやくお友達がいて、大笑いのバスの旅となりました。

富津市には生涯学習課のバスが2台あり（子ども達はふつつんバスと言っています）、保育所は借りることができます。今年度はすでに4回借りて、園外保育に出ています。保育所ではできない体験をしたり、他の保育所と交流をしたり、有効に使わせていただきながら、子ども達にたくさんの『経験する機会』を持たせてあげたいと考えています。7月、8月は、金谷の海浜公園プールに行く予定です。



保育所では、園庭で遊んだりお散歩に行ったり自然に触れる機会がたくさんあります。富津市の公立保育所（飯野・吉野・佐貫・中央・竹岡・金谷・峰上）は、『千葉県自然環境保育認証』を受けています。これは、千葉県が行っている制度で、自然体験活動を通じてこどもの主体性や創造性等を育む「自然環境保育」に取り組む団体等を支援するものです。現在、県内では、139 団体が認証を受けており、そのうち公立保育所は 18 団体しかありません。18 団体のうちの 7 団体が富津市ということになります。それだけ、自然に恵まれた環境であり、それを活かすことも出来ているのだと思います。



峰上保育所では、水はけの悪さを逆に利用し、雨上がりの園庭は絶好のどろんこ遊びスポットとなります。おうちでは、きっとここまでダイナミックにどろんこ遊びはできない(やらせられない)と思います。その分、保育所では思いっきり楽しんでます。使った水着は、もちろん自分でジャブジャブ洗い、さっぱりとお湯浴びもしています。広い園庭では、図鑑を見ながらの虫探しや木登りもできます。でも、保育所だけではできないものもあります。



地域の方のご協力があるおかげで、お散歩に行きいろいろな経験をさせていただいています。例えば、大川崎地区の石原さん宅の“ひみつの森ローズガーデン”。4 月にお散歩で寄らせて頂いたのですが「バラの見ごろ時期に、またおいで」と声を掛けて頂いていました。5 月には、また違う庭の景観に、子どもだけでなく私達職員もうっとり♪子ども達はバラに鼻を近づけ、「いい匂～い」と確かめていました。きれいにお手入れされた庭で、子ども達がすぐ近くでお花を見たり、匂いを嗅いだり、贅沢なお散歩をさせていただきました。



島田牧場さんにお邪魔した際にも、近くで牛を見せていただきました。たまたま伺った日が、牛にとってのごちそうを与える日だったそうで、牛がよだれを垂らして待っている様子や取り合いをするところも見る事ができました。牛の鳴き声や動きを間近に見た子ども達の顔も、真剣そのものでした。



また、保育所の裏にお住いの茂木さんから、ロメインレタスの苗を頂き、育て、自分達で調理をして食べました。とても柔らかくておいしいレタスで、みんなパクパクと食べていました。後日、子ども達がお礼のお手紙を書き、届けさせていただきました。



こうした地域の方との交流を今後もどんどん行っていきたいと思います。おすすめのお散歩コースや自然物を使った遊び等ありましたら、教えていただけると嬉しいです。また、保育所には畑があり、保育士と子ども達で野菜を育てていますが、畑仕事を子ども達と一緒にやってくださる方がいらっしやいましたら、ぜひ、保育所にご連絡ください。畑仕事は素人の保育士が、知っている知識や本に頼りながら頑張っています。サポートしていただけたら、こんなに心強いことはありません。ぜひ、子ども達と一緒に楽しみましょう！

このように四季折々の活動を楽しんでいる峰上保育所を、今年度もよろしくお願いいたします。

峰上保育所 68-0080 所長 高林めぐみ

※保護者の方に見ていただいているドキュメンテーションを紹介します！

